

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 空へじゃんぶ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 15日 ～ 2025年 10月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 22人
○従業員評価実施期間	2025年 9月 15日 ～ 2025年 10月 1日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有 (連絡ノート・送迎時や来所時・保護者面談など)	利用者の意見を取り入れ支援につなげる。 ミーティングなどで利用者の様子など情報共有し、課題や支援方法を議論している	研修などを活用し、各自知識を深めていき、実際の支援に役立てる。 連絡帳や口頭での報告に加え、活動内容や成長の様子を具体的に伝えることで、保護者との信頼関係の構築に努める。
2	野菜を育て収穫し調理し食す事	季節の野菜を種まき、苗植えから体験し、育っていく様子を見たり収穫の喜びを共有している。 調理では個々のできることを踏まえ支援している。 写真に撮り、ホームページに掲載し、啓発を行う	色々な作物を栽培し、作物による違いを感じられるようにし、食への理解を深めるとともに、成功体験を積み重ねられるよう支援内容の充実を図る。 食事の準備や片付けを活動の一部として取り入れることで、食事の大切さや役割意識を育む
3	季節が感じられる壁面工作や行事の実施	四季(春夏秋冬)を意識し、工作に取り組んでいる。 季節のイベント等も企画し、子どもたちが楽しんで活動、参加できる場を提供出来るように工夫している	子どもたちの意見や興味を取り入れたテーマ設定を行い、自ら関わる楽しさを感じられるよう、活動内容の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員の知識の差	勤務年数に差がある(長い人と短い人で10年くらい違う) 事が要因と思われる	研修等を行い個々の知識を深めていく。 支援者向けの集会などに参加し理解を深める。 利用者の特性、出来事等をスタッフ間でディスカッションを密に話し伝達するように心がける。
2	他の事業所や地域との交流	同じ事業所内(じゃんぶキッズ)との交流は行っている 他放課後等デイサービスや地域交流の機会がない	広島市立支援協議会安佐南区地域部会などで他の事業所との交流が図れるか検討していく。 地域イベント等の情報収集に努める。
3	災害時の対応等の周知(保護者)	災害時対応の周知が一時的な説明にとどまり、継続的な情報提供が不足している。	入所申し込みの際、避難先や災害時の連絡方法などを確認する。 防災訓練の実施後には、訓練内容や子どもたちの様子を保護者に報告し、安心感につなげる。 非常時の連絡体制や緊急連絡先について定期的に確認・見直しを行い、確実な連絡が取れる体制づくりを進める。